

公益社団法人九段

平成 30 年度事業計画

1. 平成 30 年度事業計画は次の 3 つの分野に事業を行う。

(1) 公益目的事業 1

国民、主として青少年の心身の健全な発達と千代田区立九段中等教育学校の教育活動への協力。臨海施設（至大荘）、体育施設（盡性園）の貸与、及びその管理・運営、並びにそれに付随する公益目的を達成するために必要な事業。

(2) 公益目的事業 2

青少年の心身の健全な発達のための臨海施設、体育施設を利用した体験学習の提供と体験学習を主催する団体等への施設の貸与、及びその管理・運営とそれに付随する公益目的を達成するために必要な事業。

(3) その他の事業（相互扶助等事業）

第一東京市立中学校、東京都立九段高等学校及び千代田区立九段中等教育学校の同窓会会員とそれに準ずる人達への健全な心身維持のための臨海施設、体育施設の貸与及び管理・運営、並びにそれに付随する事業。

2. 具体的な事業計画の内容

(1) 公益目的事業 1

< 盡性園 >

(A) 運営面では、施設の利用率を十分に保持するために

- ①法人ホームページの施設予約情報を的確に更新する。
- ②青少年教育機関等からの施設利用要請に積極的に対応する。

(B) 管理面では、

- ①施設の安全性を維持するため、法規制に沿い設備の改修等を進める。
- ②グラウンドとその周辺は、定期的な植栽計画に基づいた整備を行う。
- ③災害時に対応できる備品及び設備の見直しを行う。

< 至大荘 >

(A) 千代田区立九段中等教育学校の「至大荘行事」が良好な状態で行えるよう継続的に支援をする。

(B) 守谷地区との良好な関係を維持し、行事に対する地元の理解が一層深まるように努める。

(C) 管理面では、長期メンテナンス計画に沿った整備と必要な改修を行う。加えて、事業活動に関わる許認可等の整備を進める。

(2) 公益目的事業 2

(A) 体験学習の提供

至大荘において小学校高学年を対象とした「親子の臨海体験」を実施。

- ① 専門家の指導の元に作成したプログラムを実施する。
- ② 稲城市及び千代田区の教育委員会と連携し行う。
- ③ 天体観測と地層研究を中心に行う。

(B) 体験学習を主催する団体への施設の貸与

至大荘においてNPO法人「ボランティアグループおもいつき」への貸与を行う。同グループは、都内 10 ヶ所以上の児童養護施設を対象とした臨海体験を、50 年以上にわたり実施している。東京都社会福祉協議会児童部会と共催し、ボランティアグループとして堅固に組織されたスタッフを保持している。

(3) その他の事業

(A) 盡性園では、施設の空き情報を的確に公開し利用を促進する。

(B) 至大荘については、夏の利用可能状況を早めに公開し 7 月上旬に申し込みを開始する。

なお、施設の管理・運営面は3つの事業に共通しており、費用額を利用人員見込みに基づき、原則として次のように按分する。

<全体の比率>

	公益目的事業 1	公益目的事業 2	その他の事業
比 率	9 2 %	3 %	5 %

<盡性園・至大荘別の比率>

	公益目的事業 1	公益目的事業 2	その他の事業
盡性園	9 9 %	0 %	1 %
至大荘	4 5 %	2 5 %	3 0 %